

小論文（表紙）

氏名	フリガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2019年度 一般入試（春）

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください（図表添付可）。

論題 1

ある財の複占市場において企業Aと企業Bが生産活動（数量競争）を予定しており、その前段階で企業Aのみが2つの（固定費用の負担が必要な）投資計画を選択できるとする。そして、企業Aが投資Sを選択すると市場でシュタッケルベルグ・リーダーとして競争することができ、投資Cを選択すると市場でクールノー競争が展開されるとする。このとき、どちらの投資の固定費用がどれだけ大きいならば、部分ゲーム完全なナッシュ均衡において企業Aが投資Cを選択することになるか、具体的なモデルを自分で設定して説明せよ。なお、参考文献等を使用した場合、それらを必ず記載して、どこまでが引用でどの部分がオリジナルか明確にすること。

論題 2

わが国には、1700を越える市町村があるが、その中には、人口減少と高齢化が進行し、地域の産業も衰微するなどして財政的な自立が難しくなっている市町村も数多く含まれている。これら自立の難しい市町村は、原子力関連施設を誘致することで、まちの活性化を図ろうとすることもできる。以下の参考文献を読み、また、これらと反する主張を行う参考文献にも言及した上で、「原子力関連施設の誘致による町おこし」について、あなた自身の考えを経済学的な視座から述べよ。

- ・猪瀬浩平『むらと原発』（農山漁村文化協会，2015年）
- ・山秋真『ためされた地方自治』（桂書房，2007年）

論題 3

日本の製造業は、高度成長期には「太平洋ベルト地帯」への立地が中心であったが、1980年代以降は東北・九州などそれ以外の地域への工場立地も増加している。そのような変化がなぜ生じたのか、考えられる要因を2つ以上挙げて論じなさい。

論題 4

世界的な過剰ゴミ発生・投棄の問題についての以下の英エコノミスト誌の特集記事を探して読み、そこに描かれている先進諸国と新興諸国のそれぞれのゴミ問題の現状を簡潔に整理したうえで、それぞれにおいて経済学的視点から理に適っていると思われる対策について論じなさい。（2000字以内）

“Special Report: Waste – A load of rubbish”, The Economist, September 29<sup>th</sup> – October 5<sup>th</sup> 2018,  
中綴じ全10ページのうちのp.5 “Two worlds: Down in the dumps”という見出しの記事以降の実質8ページ。

【注意事項】

この表紙と記入用紙1～3をホチキス留め(左上)して提出してください。

\* 選択した論題の欄に○を記してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4

※記入不要
-------